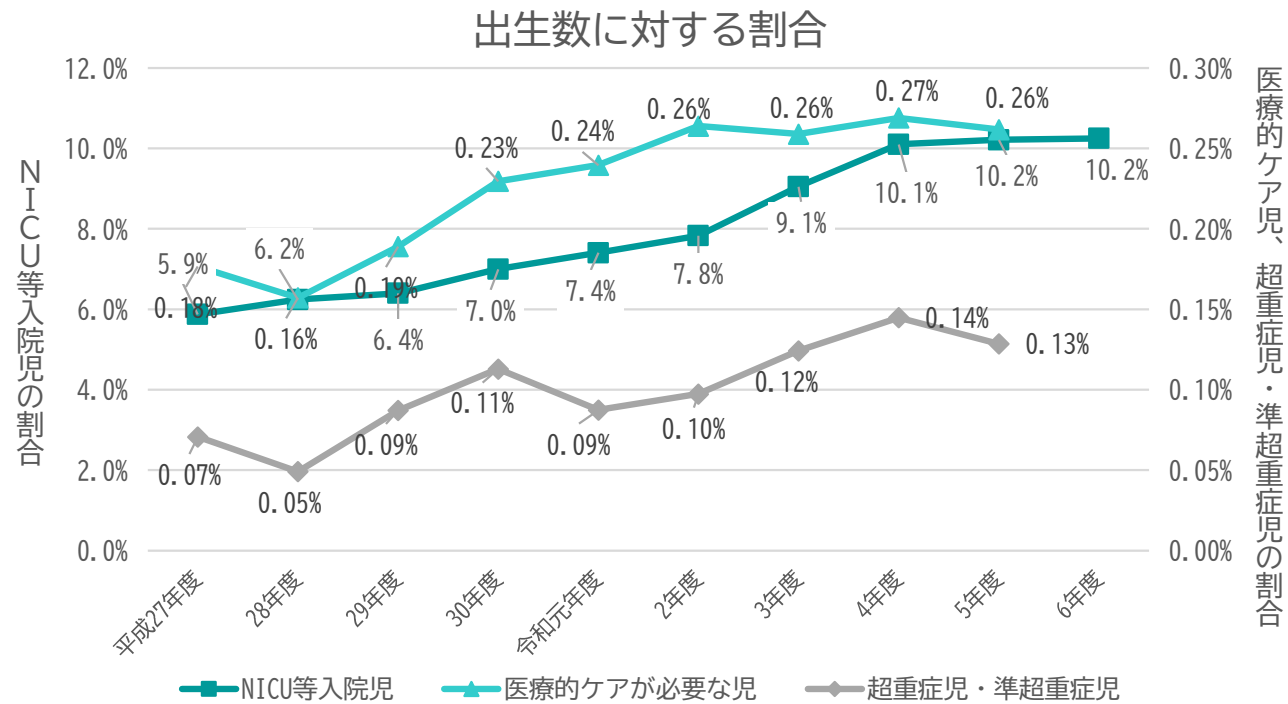


令和6年度 NICU入院児実態調査概要

NICU入院児の推移



出生数に対する割合

NICU入院児の割合 横ばい

令和5年度 10.2%
令和6年度速報値 10.2%

医療的ケア児の割合 微減

令和4年度 0.27%
令和5年度 0.26%

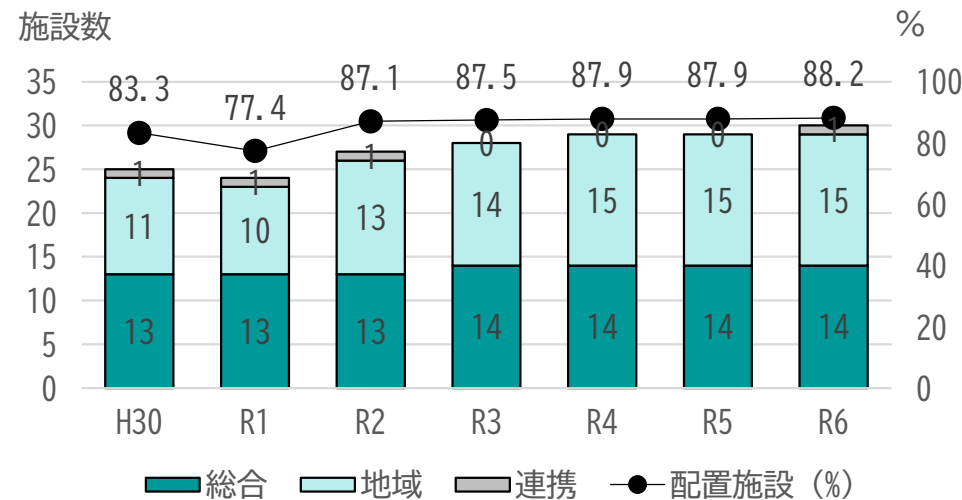
超重症児 準超重症児の割合 微減

令和4年度 0.14%
令和5年度 0.13%

	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度 (速報値)
出生数	101,818	99,661	95,404	91,097	86,348	84,207
NICU等入院児数	7,541	7,805	8,635	9,202	8,821	8,631
対出生数割合	7.4%	7.8%	9.1%	10.1%	10.2%	10.2%
医ケア児	244	263	247	245	226	
対出生数割合	0.24%	0.26%	0.26%	0.27%	0.26%	0.00%
超重・準超重	89	97	111	132	111	
対出生数割合	0.09%	0.10%	0.12%	0.14%	0.13%	0.00%

施設の体制

NICU入院児支援コーディネーターの配置

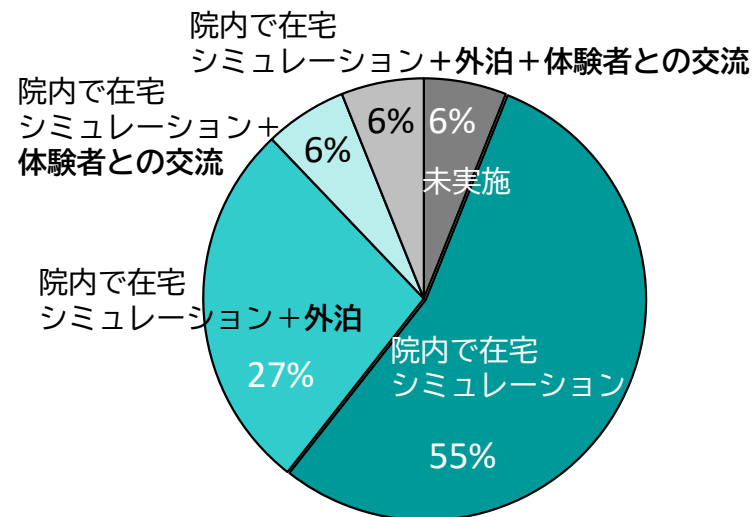


34施設中30施設（88.2%）

- ◆ 全ての総合・地域周産期母子医療センターで配置
- ◆ 周産期連携病院では1か所増

（NICU入院児支援コーディネーター）
長期入院児をその状態に応じた望ましい環境へ円滑に移行させる役割があり、医学的・社会的ハイリスク児及び家族を対象

在宅移行のための訓練の実施状況



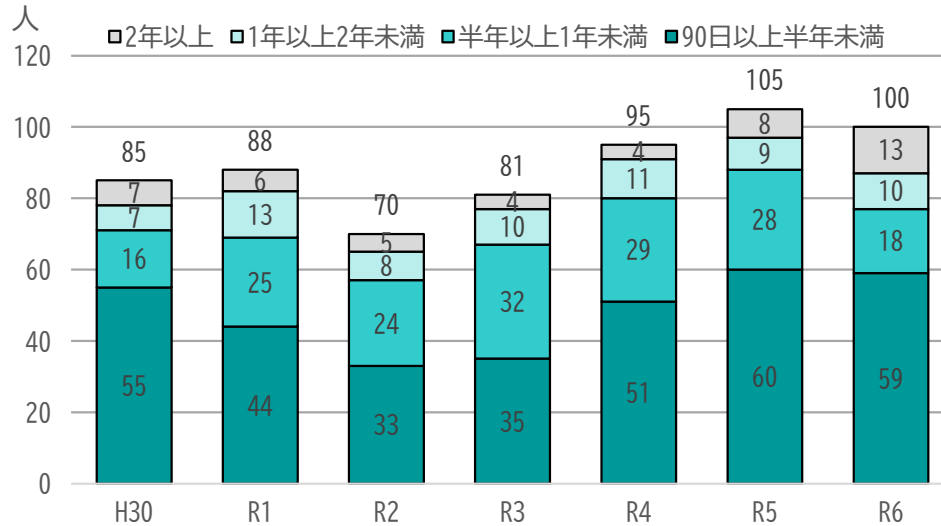
短期入院（レスパイト）の実施状況

(施設数)

	実施	未実施	合計
全体	21	13	34
	61.8%	38.2%	100%
総合	8	6	14
地域	11	4	15
連携	2	3	5

長期入院児の状況

入院期間別長期入院児数の推移



長期入院児数は前年に比較し減少

90日以上の入院 / 低出生体重児が最多 51.0%

退院できない理由 / 病状不安定 80%

療養環境未整備 15%

家庭環境・経済的理由 16%

主な原因疾患

(複数回答)

	90日以上 半年未満	半年以上 1年未満	1年以上 2年未満	2年以上	合計
入院児数	59	18	10	13	100
原因疾患数 (一人当たり)	1.9	2.1	1.8	2.0	1.9
低出生体重児	35 59.3%	9 50.0%	2 20.0%	5 38.5%	51 51%
慢性肺疾患・気道異常	25 42.4%	10 55.6%	4 40.0%	6 46.2%	45 45%
先天異常症候群	15 25.4%	6 33.3%	6 60.0%	5 38.5%	32 32%
先天性心疾患	16 27.1%	7 38.9%	2 20.0%	3 23.1%	28 28%
新生児仮死	14 23.7%	3 16.7%	1 10.0%	4 30.8%	22 22%
神経・筋疾患	6 10.2%	2 11.1%	3 30.0%	3 23.1%	14 14%
その他	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0%

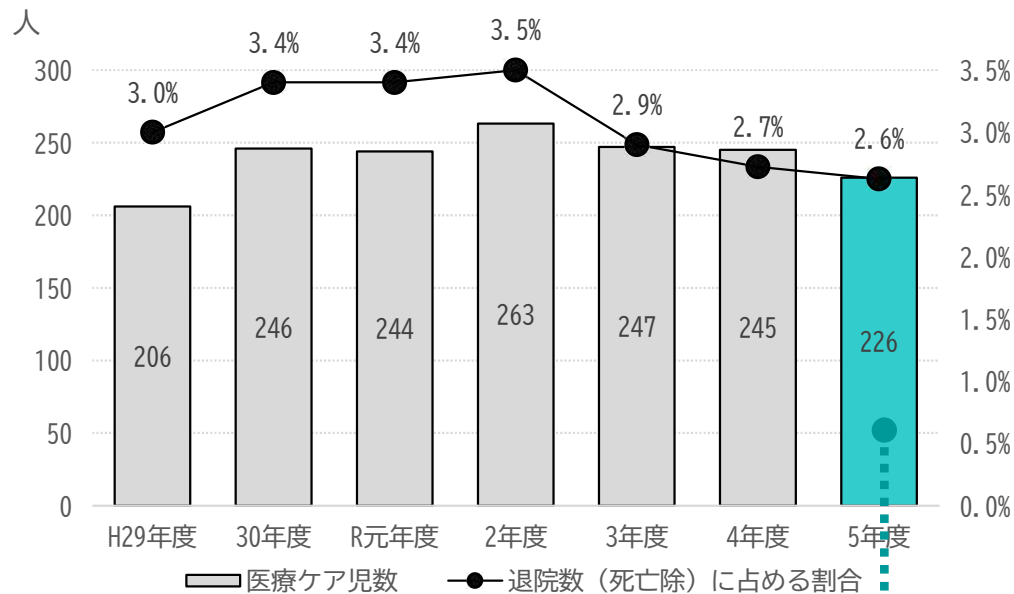
退院できない理由

(複数回答)

	90日から 半年未満	半年から 1年未満	1年以上	2年以上	全体
入院児数	59	18	10	13	100
退院できない理由の数 (一人当たり)	1.2	1.7	2.1	2.7	1.6
病状不安定	53 89.8%	16 88.9%	3 30.0%	8 61.5%	80 80%
家族の受入不良	1 1.7%	3 16.7%	5 50.0%	8 61.5%	17 17%
家庭環境・経済的理由	3 5.1%	3 16.7%	4 40.0%	6 46.2%	16 16%
家族の医ケア技術習得等療養環境未整備	8 13.6%	3 16.7%	3 30.0%	1 7.7%	15 15%
施設入所待ち	1 1.7%	1 5.6%	4 40.0%	5 38.5%	11 11%
中間施設としての小児科受入体制不十分	1 1.7%	0 0.0%	1 10.0%	2 15.4%	4 4%
地域のサポート体制 が不十分	0 0.0%	3 16.7%	0 0.0%	1 7.7%	4 4.0%
在宅医療フォロー 体制が不十分	0 0.0%	2 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	2 2%
レスパイト先確保問題	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 7.7%	1 1%
その他	4 6.8%	0 0.0%	1 10.0%	3 23.1%	8 8%

医療的ケア児の状況

医療・介護ニーズのある児の推移



令和5年度

NICU退院児／8,680人（うち死亡70人）
死亡退院を除いた8,610人のうち、
医療・介護ニーズ226人(2.6%)

在胎週数・出生体重の内訳

出生時体重	在胎週数					合計	
	22-23W	24-27W	28-33W	34-36W	37-41W		
500g未満	6	7	2	-	-	15	6.6%
500～1,000g未満	11	29	8	-	-	48	21.2%
1,000～1,500g未満	-	1	11	5	2	19	8.4%
1,500～2,500g未満	-	-	10	15	29	54	23.9%
2,500g以上	-	-	-	9	80	89	39.4%
不明	1	-	-	-	-	1	0.4%
合計	18	37	31	29	111	226	100%
	8.0%	16.4%	13.7%	12.8%	49.1%	100%	

在胎週数37週から41週2500g以上が最多
(在胎週数)

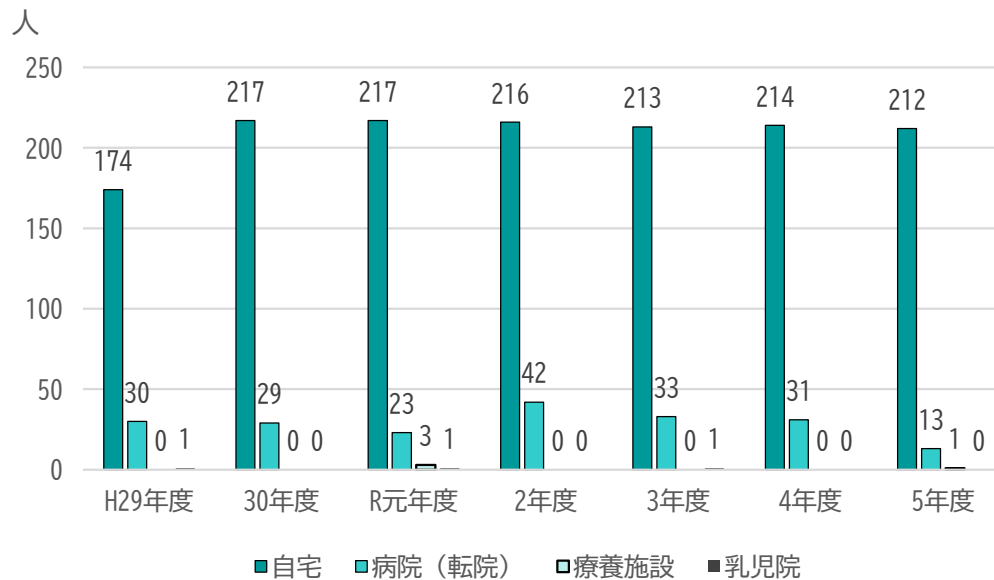
最小値／22週 中央値／36週

(出生体重)

最小値／306g 中央値／2192g

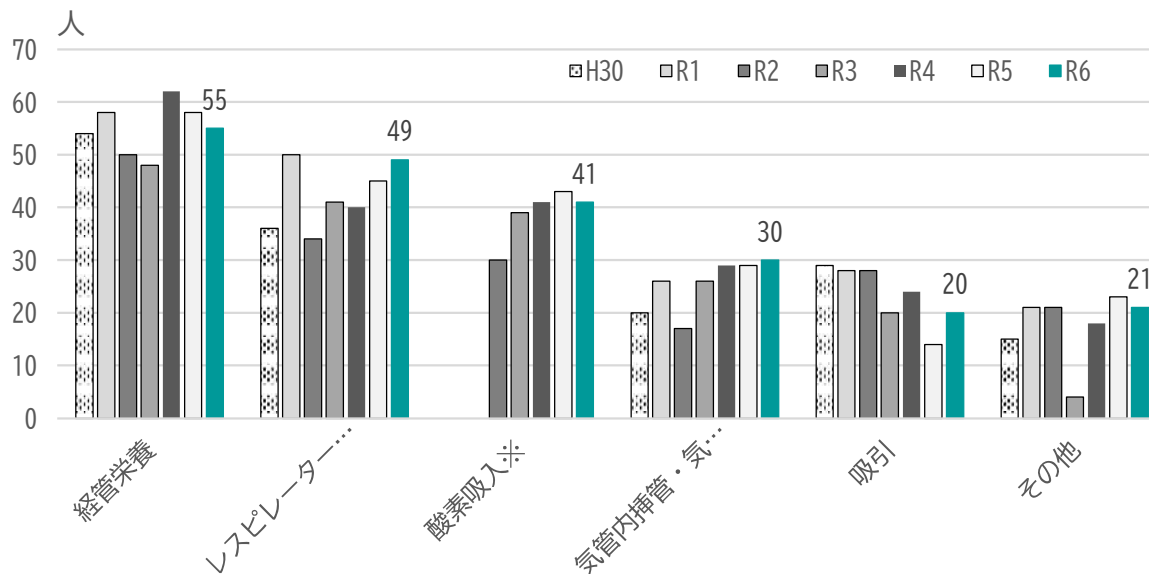
医療的ケア児の状況

医療的ケア児の退院先



R5 医療・介護を必要とする226人のうち
 自宅退院 212人
 転院 13人

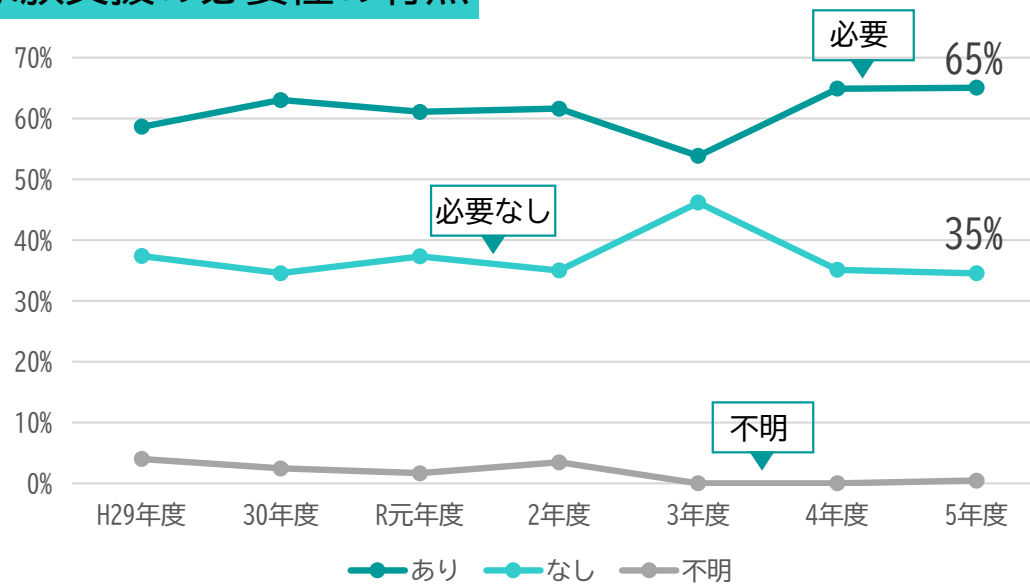
退院時の医療的ケアの内容



令和5年度
 経管栄養 55%
 レスピレーター管理 49%
 酸素吸入 41%
 気管内挿管・切開 30%

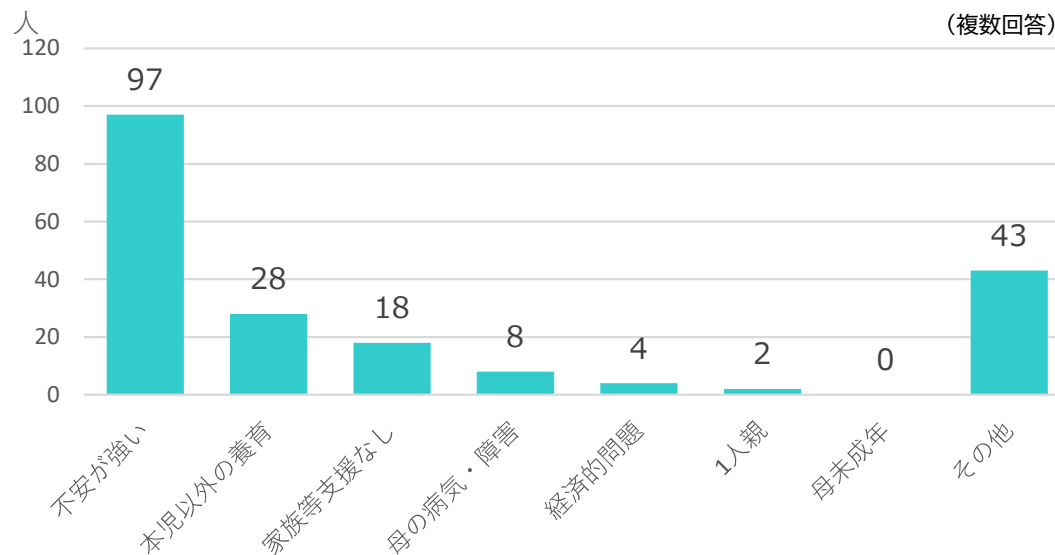
医療的ケア児の状況

家族支援の必要性の有無



医療的ケア児226人のうち
6割以上が家族支援の必要性あり
家族支援の必要性は増加傾向

支援が必要な理由



令和5年度 家族支援が必要な理由

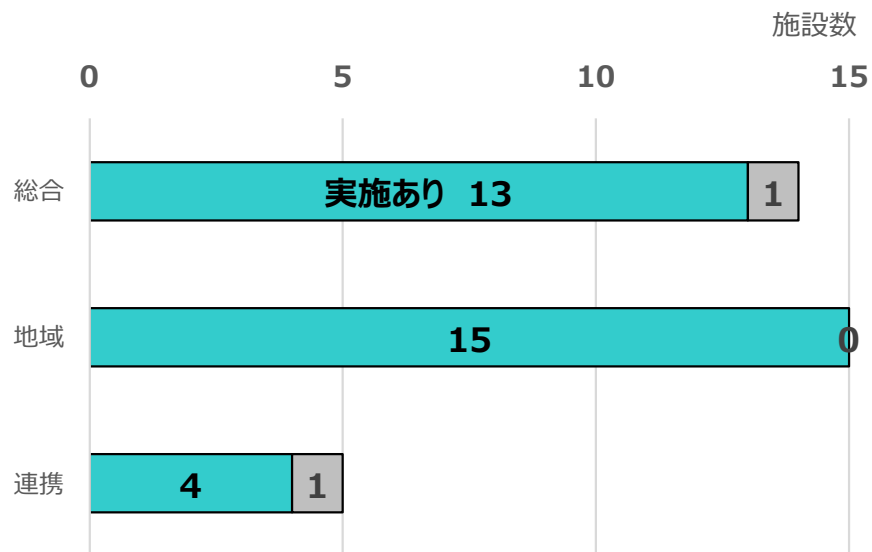
「不安が強い」が最多

「その他」の内訳

- ・医療的ケアを必要とするため
- ・外国籍
- ・双胎
- ・父親の要因（不在がち、病気）

医療的ケア児の状況

家族支援の実施状況



実施あり施設

具体的な実践内容（32施設）	施設数
① 子どもと家族と一緒に過ごせる環境を整える	29
② 治療などについて家族と一緒に相談する	29
③ 家族が子どものケアに参加する	32
④ 子どもの痛みの緩和法を家族と相談する	11
⑤ 家族自身の相談に対応する	31
⑥ その他	1

実施なし施設

家族支援をされない理由（2施設）	施設数
① 十分なスペースがないなど設備上の問題	2
② 子どもの治療が最優先	0
③ 家族支援を行う人員（マンパワー）の不足	2
④ 家族支援を行う人材（専門知識）の不足	1
⑤ その他	0